

最優秀賞（山口県知事賞）

ママブラスバンド いしんぴよぴよ隊

代表者 松本 睦（くらしづくり分野／下関市）

活動の動機・目的

「ママになっても音楽を楽しみたい」「親子で音楽を楽しみたい！」そんな親子が集まり、バンドとして、ママサークルとして活動している。

音楽を通じて、孤独な育児にならないように親子での今の時間を楽しんでもらうために、「一緒に楽しめて元気が出る」そんなステージを目指して日々、練習やステージに取り組んでいる。

活動の内容

ママ&キッズメンバーで構成され、親子でステージを盛り上げる。総メンバー数は大人28名、子供62名の総勢90名で編成。楽器編成は、フルート、クラリネット、サクソ、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォ、パーカッション、ピアノカ等。

①下関市内で子育て支援イベント、子育て支援施設などで依頼を受けて活動。

児童クラブ出前講座やふくふくこども館第1回ふくふくフェスタ、下関市立ひこまるクリスマス会など多数。

○演奏だけでなく、歌あり・踊りありの会場参加型ステージを展開。指揮者をおかないビッグバンドスタイルでお客様により近く、親しみやすいステージをお送りしている。

○オリジナル編曲、ステージサイズや音量制限にあわせた編成でのアンサンブルステージも実施。キッズメンバーも出演し、おんぶや抱っこ、ベビーカーでの参加もある。そのステージは子育て中のママさんなどにも人気。皆さんと同じ状況だからこそ、より遠慮なく「お互い様」で楽しんで頂くスタイルを心がけている。メンバーそれぞれが無理なく、参加しやすく、活動しやすいスタイルで出演している。

○親子でエコ活動にも積極的に取り組み、「身近なモノで楽器を作り、より音楽を気軽に楽しもう」とお菓子の廃容器やペットボトルを利用した「エコマラカス」を制作して、演奏に使用している。その楽器で演奏に参加する体験型イベント「ぴよぴよワークショップコンサート」は出前講座で好評。

②定例会（練習）を週2回実施。

③子育てサークルとして、七夕会やクリスマス会、忘年会等を実施。

これからめざしたいこと

出産や育児、仕事や転勤などにより、休団メンバーの入れ替わりもあり、総メンバーは多くても、実動の人数のバラツキがあり、ステージごとにメンバーも変わるので、臨機応変に対応していくこと、依頼に追われる中で、サークル内でのイベント事が少なくなっているのが今後の課題。

演奏を通じて、子育て世代に勇気や元気を与える、そして気軽に音楽を楽しんでいただける・・・そんなステージを目指し、日々進化していきたい。



ふくふくフェスタにて



↑ぴよぴよ隊キャラクター“ぴよこ”